

No.創出-3-1	レインガーデンなどの設置
-----------	--------------

**技術の目的**

雨水を集め、一時的に貯留し、地下へ浸透させる機能を持つ植栽地（レインガーデン、バイオスウェルなど）の設置により、河川や下水道への雨水流出を抑制し、河川の水質浄化、都市水害の軽減を図る。

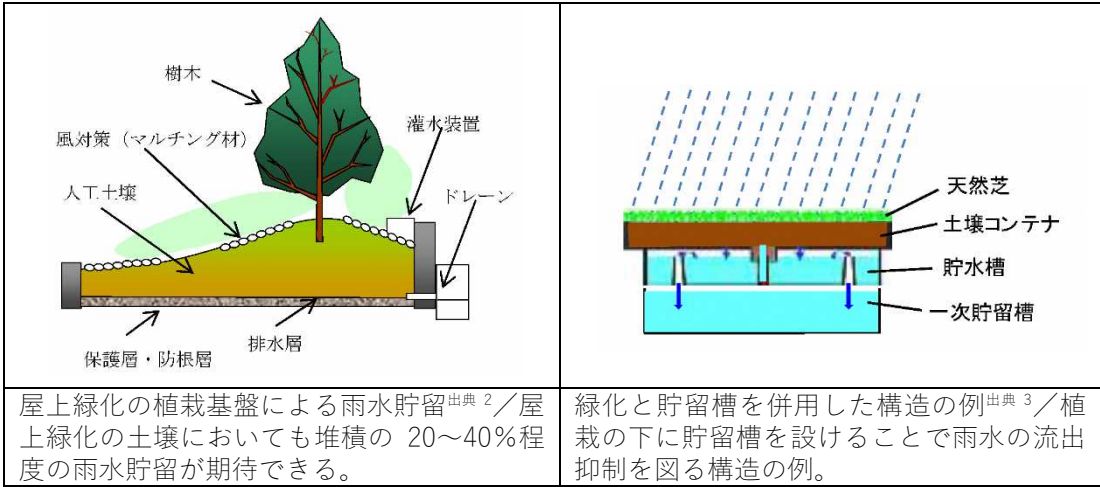
導入する局面	創出	維持管理	利活用
適用空間	水域		陸域

**技術の内容・事例**

**■技術の内容**

- 都市では、雨水の多くが、地面が舗装されているがために地下へ浸透することなく、下水道管に流出する。大雨時に下水道管へ雨水が大量に流入した場合、汚水とともに河川に流れ込み、水質悪化の原因となる。雨水を一時貯留、地下浸透させる機能を持つレインガーデンなどの植栽地を整備することで、雨水の流出を抑制し、水質の改善、都市水害の軽減を図ることができる。
- 面的に整備したものはレインガーデン（雨庭）、带状に整備したものはバイオスウェル（緑溝）と呼ばれている。
- 植栽種やデザインを工夫し、景観形成を図ることもできる。

図 レインガーデンのイメージ<sup>出典1</sup>



**■導入事例**

1. レインガーデン



庭園風に整備されたレインガーデン（雨庭）。雨水の取り込み口を設け、舗装面からも集水している。（四条堀川交差点/京都市）<sup>出典4</sup>

## 2. バイオスウェル



大規模開発事業により設置されたバイオスウェル（南町田グランベリーパーク／町田市） 出典 5



建物の屋根に降った雨を植栽帯に集め、貯留し、地中へ浸透させている。植栽には在来種を選定している。（千葉大学園芸学部／松戸市）

## 3. 雨水プランターなど



雨樋の水を活用したプランター 出典 2  
（墨田区）

雨樋から分岐した水を竹筒を通し井筒から溢れて植栽地へ流入させている事例

### ■出典・参考資料

- 1 オール東京 62 気候変動適応策研究会 気候変動への適応策事例集「市民協働によるレインガーデンの設置・維持管理（横浜市）」（令和 3（2021）年）<https://all62.jp/tekiou/index.html>
- 2 オール東京 62 気候変動適応策研究会 気候変動への適応策事例集「地域に根差した雨水利用の啓発（墨田区）」（令和 3（2021）年）<https://all62.jp/tekiou/index.html>
- 3 東京都都市整備局「公共施設における一時貯留施設等の設置に係る技術指針」（平成 28（2016）年 3 月）<http://www.tokyo-sougou-chisui.jp/shishin/>
- 4 京都市 HP 「雨庭の整備」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/57-19-0-0-0-0-0-0-0-0.html>
- 5 辻野・久家「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト—官民連携による LEED ND の取得—」ランドスケープ研究 Vol.82No.4（令和元（2019）年）

基本指針との関連

居心地がよく歩きたくなる 水と緑にかこまれたまち		水と緑を楽しみ、 魅力とにぎわい にあふれたまち	水と緑が守り、育む 環境共生型のまち		緑が支える 防災・減災のまち
良好な 景観形成	暑熱対策	人の集う場・ 活動の場	都市の 水管理	都市の生物 多様性確保	防災・減災
○	○		◎	○	○

注) ◎：当該技術の主要な機能、○：当該技術の副次的な機能

期待される効果

環境			防災			福祉・教育			地域振興		商業・観光振興					
ヒートアイランド減少の緩和	都市における生物多様性の確保	水質改善	災害（火災・水害など）の軽減	災害時の復旧活動・支援拠点	災害伝承・防災教育の場	健康増進・介護予防	緑の景観によるストレス軽減	子育て支援	環境教育・自然とのふれあい	コミュニティの醸成	地域の自然観・郷土愛の醸成	都市の魅力・競争力の向上	不動産価値の向上	観光・商業振興	労働生産性の向上	労働環境の改善
●	●	●	●				●						●	●	●	●